

## HAPPY NEW YEAR 2015



東温市健康フォーラム2014会場にて  
左から阿部副院長、佐野有美さん、岩田院長、久保統括診療部長 (関連記事2頁)

### 年頭のごあいさつ

みなさん、新年明けましておめでとうございます。愛媛医療センターとして3年目を迎えました。

超高齢化社会を迎え、医療・介護体制も変革の波が来ています。地域医療の再構築のため、昨年より病床機能報告が義務化され、当院も2階～4階病棟は急性期病床として、重症心身障害児(者)病棟と神経難病、ポスターNICUのある1階病棟は慢性期病床として報告しました。

県内では比較的医療資源が豊富な中予地区においても救急医療体制の維持が難しくなっており、当院にも救急医療への協力が求められています。現在は東温地区の救急を受け入れていますが、28年春からは中予地区の2次救急輪番体制への参画も予定しております。地域から求められることを実現出来る病院に変わっていく必要があります。

また国立の時代から引き継いでいる政策医療の結核、重症心身障害、神経難病については、愛媛県の核としての役割を今後も果たしていかなければなりません。独立行政法人化されて病院経営は独立採算であり、地域・県民から求められる医療を継続するためには健全な病院経営が求められます。医師やスタッフに今後も若い人材を補充し、病院を活性化したいと考えています。

今年はひつじ「未」年です。「未」という字はまだ熟しきらない成長途上の植物を表しているとも言われます。地域医療と政策医療の両翼をさらに伸ばして成熟した病院になれることを願って新年のご挨拶と致します。

院長 岩田 猛

# 健康フォーラム2014

'14.10.5

第9回目を迎えた東温市健康フォーラムは、東温市合併10周年という節目にあたり記念大会として、「東温市健康フォーラム2014」～健康なまちづくりを目指して～というテーマで、平成26年10月5日(日)に東温市中央公民館で盛大に開催されました。

特別講演として、先天性四肢欠損症で生まれ、高校在学中はチアリーディング部に所属し、〈車椅子のチアリーダー〉として話題となった佐野有美さんをお迎えし、～明るく生きる～私が「健康」を語るなら～というテーマでの講演およびミニライブが催されました。来場者の多くが、佐野さんの笑顔と前向きな生き方に元気をもらって帰られたと思います。その他にも「お口の健康体操」「とうおん健康づくり実践活動」「ロコモティブ症候群の予防と対策」等、例年よりも大幅に拡大した内容でした。



開場前のひとコマ

当院は第1回目からの共催であり、今年度は、アロマセラピー、キッズナース撮影会を行い、来場して頂いた方に喜んでいただきました。中でもアロマセラピーは、毎年盛況で今年度も51名の方にアロママッサージを体験していただき、癒しのひとときを提供しました。キッズナース撮影会では、ユニフォームに着替えてミニドクター、ミニナースになり、お父さん、お母さんに写真を撮ってもらっていました。今年は、シャンピーバルーンのお姉さまと一緒に、ちびっこたちに楽しんでもらいました。

今後も地域に貢献する愛媛医療センターとしてその役割を果たしていきたいと思います。また、当日はボランティア参加してくれた多くの当院職員に感謝しています。

副看護部長 高須賀 久美子



キッズ?? ナース



受付の看板娘?



正真正銘の キッズナース



ちよつと一息 シャンピーバルーンに挑戦

# 東温市総合防災訓練

’14.10.19



平成26年10月19日(日)、すがすがしい秋晴れのもと、東温消防署前の河川敷において東温市総合防災訓練が開催されました。愛媛医療センターからは、医師3名、看護師5名、看護学生5名の計13名が救護医療訓練に参加しました。代表としてその報告をさせていただきます。



現場と無線連絡中の山内診療部長

次は我々の出番です。河川敷に設置した救護テントを「愛媛医療センター」と仮定し、救出された傷病者の受け入れと治療を行いました。まず初めに看護学生が、運ばれた模擬患者に対してトリアージを行いました。トリアージとは、傷病者が多数出たときに、限られた人員で最大限の治療効果が上がるよう治療の優先順位を決定するものです。軽傷群に緑色、準緊急群に黄色、緊急群に赤色、死亡群に黒色のタグを付けることは皆様ご存知のことと思います。次にテント内で鈴木・宮本両医長と5名の看護師が治療に当たりました。緊張性気胸に対する胸腔ドレーナージチューブ挿入、骨折に対するシーネ固定、気道熱傷に対する気管挿管などの「エアー治療」を行いました。また、手術室やICUへの後送連絡訓練も行いました。

患者の受け入れから治療終了までのシナリオは私が考えたものであり、訓練はほぼ予定通りのことが出来たと思います。しかし当然のことながら、今回の治療行為は全くの「エアー」であり、実際の場合に今回のようにスムーズにいくはずもありません。またそのための準備が医療側にできているとは言えないのが実情だと思います。昨年は、広島での土砂災害や御嶽山の噴火など大規模な自然災害がありました。また西アフリカでエボラ出血熱が大流行し、その対策や対応に苦慮した一年でした。今回の訓練参加は、愛媛医療センターとしての災害対応の第一歩であり、今後はさらに具体的な準備や対策の深化を進める必要があるものと感じた次第です。

診療部長 山内 康裕



治療中の宮本整形外科医長

「南海地震により西日本沿岸部に大津波が発生。東温市でも震度6強の揺れにより家屋の倒壊や交通事故、ライフラインの寸断が起これば多くの市民が負傷した。」が、今回の訓練の前提でした。まず始めに倒壊した家屋や大型バスからの傷病者の救出訓練が行われました。事故現場や傷病者が非常にリアルに再現され、東温市の救急隊や消防団による連携のとれた救出作業やスムーズな連絡対応を拝見して心強く感じました。次に愛媛県の消防防災航空隊による広域患者搬送訓練がありました。航空隊員が、20～30メートルの上空からロープによる降下と傷病者の収容（タンデム状態での吊り上げ）を行いました。間近でこのような訓練を見るのは初めての経験であり、一種の感動さえ覚えました。



当日の参加者



診察中の鈴木外科医長



救助中のレスキュー隊員

# 地域の輪



## 南高井病院

### 繋がる地域医療連携

南高井病院は、自然に囲まれた爽やかな療養環境のもと、慢性期状態にある患者様の多様なニーズに対応できる体制を整備し、患者様お一人お一人の満足を提供できる病院でありたいと考えています。病床数は、障害者施設等一般病床60床、医療療養病床240床、介護療養病床53床の合計353床です。2014年9月には病院機能評価の認定を受けることができ、より一層の安心と満足を提供できることと思います。また、ISO9001認証も取得し、『人々の仕合わせのために』という理念の下、品質マネジメント規格に則ったサービスの展開を行っています。



施設設備においては、他にはない療養環境設備を整えており、院内にある食堂は外部の方などを含め誰でも利用可能で、お昼時には多くの方で賑わっています。ここには大きなステージもあり年間を通して様々なイベントを行っている「多目的ホール」でもあります。このステージ名は『南高井劇場』と呼ばれ、病院内には遊び心を踏まえた造りになっており、1年を通して様々な催しが行われています。多目的ホール横にあるガラス張りのティーラウンジからは、孔雀小屋やせせらぎの滝などを眺める事ができ、また、屋上庭園や癒しの森と言われる遊歩道では四季折々の草花を楽しむ事も出来ます。

2014年12月にはサービス付き高齢者向け住宅『みなみの杜』がオープンしました。これにより、益々地域の皆様のお役に立てるものと思います。これからも、地域に根ざした選ばれる病院であるよう努力してまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

施設名：医療法人 天真会  
南高井病院

住 所：松山市南高井町333

電 話：089-976-7777

F A X：089-976-6622

## 癒しのひと時 アロマセラピー

愛媛医療センターでは平成18年10月から看護外来が開設され、その中の一つにアロマ外来があります。アロマセラピーとは、植物の花、葉、種子、幹、果皮、樹脂など色々な部分（植物により異なる）から抽出された100%天然の精油（エッセンシャルオイル）を用いた自然療法の一つです。方法としては、芳香浴、入浴法、湿布、マッサージ及びスキンケアなどがあります。

毎月第2水曜日の13時から17時まで下肢を中心に温浴、マッサージをしています。対象は主治医の許可のある患者さま、ご家族と地域の方々です。所要時間は、温浴10分とマッサージ10分ですが、初めての方は問診とパッチテストがあるので30分～40分必要です。

芳香浴に使用している甘酸っぱい香りのするスイートオレンジは、年齢を問わず人気がありリラックスと癒し効果があります。また、マッサージに使用している精油のサイプレスは、森林の中にいるような檜の香りや体内の余分な水分や老廃物を排出し、忍耐力や集中力を高める効果があり、精油の芳香成分を皮膚から直接吸収させることを目

的としたマッサージによる相乗効果も期待できます。

マッサージを受けた方は「足が軽くなった」「だるさがなくなった」と毎月楽しみにしてくれている方もいます。

マッサージは日本アロマセラピー学会の認定を受けた看護師が実施します。予約制で毎月20人前後の方がきてくれます。ご希望の方は、受診帰り、お見舞いの帰りにぜひ一度お立ち寄りください。



### アロマ外来

日 時：毎月第2水曜日  
13時～17時

場 所：歯科外来

所要時間：足浴とマッサージで20分程度

料 金：無料

予約人数：25名まで

予約方法：アロマ外来

外科外来窓口で予約ができます。

☎でのお問い合わせと予約

☎089-990-1835（外科外来）



# 医療安全 管理より だより

こんなことしています

## ダメよ～、ダメダメ

# PTPシート誤飲



今回は、日本医療機能評価機構からの「医療安全情報」を紹介します。

薬を内服する際に、誤ってPTPシート（薬剤をプラスチックやアルミ等を貼り合わせて包装したもの）から出さずに服用すると、切り離れたシートの角が鋭いため、喉や食道を傷つける場合があります。過去には十二指腸穿孔などで緊急開腹手術が必要となった事例も報告されています。



予防対策として、

- ① PTPシートは1錠ずつ切り離さない。
- ② 可能な限り一包化する。
- ③ PTPシートの薬剤と一包化したものなど、違う形態のものを一緒に渡さない。
- ④ 1錠ずつ切り離れたPTPシートは、誤飲の危険性があることを患者様に伝える。
- ⑤ 高齢者、誤飲の可能性がある場合は内服時の見守りを行う。

もし、飲み込んだ場合はすぐに医療機関へ相談、受診しましょう！

誤飲の自覚がなくても、薬の服用後に喉や胸などに違和感がある場合などで誤飲が疑われる場合は、受診したほうがよいでしょう。

もしかしてだけど～もしかしてだけど～ ナースのお仕事しちゃってんじゃないの～

## 東温高校インターンシップ '14.11.5～7

今年度は看護師体験8人、栄養士体験2人の高校生を受け入れられました。

3日間という短い時間でしたが、皆とても生き生きとした笑顔で「なりたいたい」という思いが強



手術室：手洗い体験

くなった、勉強をがんばる」などの感想を述べてくれました。自分の思い描いた未来像を少しでしたがリアルに体験できたようです。このインターンシップが夢に向かって進んでいる高校生の頑張るきっかけになれば嬉しいと思いました。

高校生の感想を一部紹介します。

Sさん（看護）

「今回のインターンシップで、看護師という仕事は、人とのつながりを大事にしないといけない職業だと実感しました。看護師の仕事は大変そうでした

が、患者さんの様子や会話を聞いていると、とてもやりがいを感じる、人のためになるいい仕事だなと思いました。常に患者さんのことを考えててきばき働いている看護師さんがとても輝いて見えました。かっこよかったです。看護師になりたいという思いが強くなりました。素敵な3日間をありがとうございました。」



手術室：ガウンテクニック体験

Wさん（栄養）

「3日間の体験で想像していたことと違い驚いたことがあります。献立を考えるだけでなく栄養相談や食事時の患者さんの様子を見に行ったり、患者さんと接する機会がかなり多いことです。患者さんとコミュニケーションをとることは、とても難しかったです。大変なことばかりでしたがその中にも楽しいことや嬉しいこともありとてもやりがいのある仕事だと改めて思いました。私も周りの患者さんから信頼されるような管理栄養士になるために頑張りたいです。」

教育担当看護師長 松田 真紀

# 医心伝心

## 動脈硬化のおはなし

自分の体で一番大切な臓器は何だと思いませんか？答えは様々だと思いますが、脳と答える人や心臓と答える人が多いかもしれません。お酒が好きな人は肝臓と答えるかもしれません。しかし、血管と答える人はほとんどいないのではないのでしょうか。

血管は全身に張り巡らされており、私たちの大事な臓器に酸素や栄養などの必要物質を届ける重要な役割を担っています。そのため血管が障害されると体の色々な所で不調が出てくることになります。100年以上前の有名な内科医ウィリアム・オスラー博士は「人は血管とともに老いる」という言葉を残しています。

血管の老化を動脈硬化と捉えると、この言葉は非常に本質をついているように思います。動脈硬化とは高血圧症（血圧が高い）、高脂血症（コレステロールが高い）、糖尿病（血糖が高い）、喫煙などの危険因子により血管が障害されて固く、細くなることです。

動脈硬化が進行して心臓を栄養する血管が詰まると心筋梗塞、脳を栄養する血管が詰まると脳梗塞

各科のドクターがそれぞれの専門分野から、病気・治療・予防等々フリーテーマで一文をしたためます。

となります。どちらもひとたび発症すると健康が大きく損なわれます。誰もが経験的に知っているように、適度な運動は体の機能を保って老化を抑えることができますが、それは血管にもあてはまります。

高血圧症、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病は症状があまりありませんが、動脈硬化により体内の老化を促進していきます。それらのコントロール、禁煙、適度な運動で動脈硬化を防ぎ、健康に年齢を重ねることが大事ではないのでしょうか。



循環器内科 藤田 鉄平

# 四季燦餐

## ～お雑煮の巻～

あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いたします。

「年越そば」を食べ、ゆく年を思い、「雑煮」を食べ、気持ちを新たに新年を迎えられる方も多いのではないのでしょうか。そこで今回は、「雑煮」についてお話ししたいと思います。

「雑煮」の歴史は古く、室町時代頃にはすでに食されていたようです。当時の武士の宴会では、必ず一番初めに酒の肴として雑煮が振舞われており、この習わしをもとに、一年の無事を祈りお正月に食べるようになったと言われています。

～雑煮の違いあれこれ～  
(味付けについて)

京都を中心に、白みそ仕立ての関西風、関東・中国・九州地方中心にしょうゆ仕立てのすまし汁といった具合に、味付けは地方によって、また家庭によっても様々なので、ひとくりにすること

はできませんが関西地方・関東地方という単純なものではなく、その土地の礎を築いた人が京都文化・江戸文化どちらの影響を受けているかが反映されているようです。全国的にすまし汁が多いのは、参勤交代で地方に江戸文化が伝わったためであるとも言われています。

(具材について)

具は、大根、人参、ねぎなどの野菜に加えて、例えば東北なら山菜やきのこ、新潟ならサケやイクラ、広島なら牡蠣といった具合にその土地の産物が入るようです。山村なら山の幸、漁村なら海の幸が盛り込まれますが、逆に山間部などでは普段手に入りにくい塩ブリなどをお正月ならではのちそうとして雑煮に入れることも多いようです。

地方や家庭ごとに異なる「お雑煮文化」ですが、今年はいつもと一味違った「お雑煮」を召しあがってみてはいかがでしょうか。



### 学校祭

本年度の学校祭は「progress ～輝かしい未来に向かって～」というテーマのもと開催いたしました。これまで看護学生として学んできたことを来校された方々に知っていただきたく、本年度から新たに「学生公開講座」と「健康度チェック」を実施いたしました。

学生公開講座は、1年生は避難所生活体験、2年生はAEDを用いた救急蘇生法、3年生は正しい手洗い方法について20～30分程度の講座を実施いたしました。最も人気が高く、長蛇の列ができたのは「健康度チェック」でした。血管年齢測定、NEO活齡という機械を用いた身体年齢測定、骨密度の計測を行い、自分の



身体について知っていただくよい機会となり、体験された方にも満足していただきました。

他にも、患者様の有志によるテーブルマジックを開催し、見物していた方からは驚きの声が何度も聞かれました。来校者数も昨年までと比べて大幅に多い約280の方が来校され、食品バザーやフリーマーケット、アロママッサージなども大盛況でした。天候に恵まれたことありますが、学校祭の企画内容に魅力を感じて来校して下さった方も多いのではないかと思います。

ご来校の皆様、ならびにご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。来年度の学校祭にもご参加いただきたくお待ちしております。ありがとうございました。

学校祭実行委員長 大西 亜矢香

頑張って!!



公開講座「AED体験」

愛媛医療センターニュース編集委員の持ち回りでお届けします。

ちよいこ言ひ放し

学生時代は、サッカーに汗を流していた体育会系の私ですが、就職してからは仕事を覚えるのに忙しく、運動そのものから遠ざかっていました。しかし、今では週に2回の院内バドミントンが楽しみになっていきます。バドミントンを始めたのは愛媛医療センターに就職してから間もなく、上司から院内バドミントン愛好会に誘われたのがきっかけでした。バドミントンは学生時代に体育の授業で経験した程度なので不安もありましたが、県外から就職で愛媛に引っ越してきたばかりの私は知り合いも少なかったため、親睦を深めるきっかけになればと参加してみることにしました。

最初はまともにはラケットにあてることもできず、必死にシャトルを追いかけていました。ダブルスの試合をしても、迷惑をかけてばかりで申し訳ない気持ちでいっぱいでしたが、たくさんの方に温かい声をかけていただき、楽しみながら続けることができました。

今バドミントンを続けてきて良かったと思つことは、たくさんの方と出会えたことです。バドミントン愛好会には、看護師・医師・事務や病院外の人までたくさんの方々がいます。普段仕事しているだけでは出会う事のなかった人、話す機会もなかった人と出会うきっかけをあたえてくれました。

しかし、いろいろな出会いを与えてくれたバドミントンですが、最近参加者が減ってきました。その中で、絶賛参加者募集中です。

開催日は月曜・木曜の週2日で、愛媛医療センター附属看護学校の体育館をお借りして、19時半から21時までの1時間半。みんなで楽しみながら汗を流しています。初心者の方も大歓迎ですので、興味を持った方は是非参加してみてください。

土佐のういそ



# 外来診療担当医表

内科外来直通電話 089-990-1834 FAX 089-990-1858  
 外科外来直通電話 089-990-1835 FAX 089-990-1859

診療科	月	火	水	木	金
循環器内科	船田泉	泉藤井藤田	岩田藤田	岩田	船田
消化器内科	古田	山内(一)	久保岡廣	山内(一) 糖尿病専門 古田	久保
呼吸器内科	阿部	市木渡邊	佐藤	阿部植田	市木
神経内科	小原	山下			戸井
外科	石丸(午後)				
消化器外科		鈴木	森本		
呼吸器外科					湯汲
心臓血管外科					
整形外科 午前のみ診療	横手宮本	曾我部	横手曾我部	宮本	宮本(第2・4) 曾我部(第1・3・5)
専門外来 (完全予約制)	心臓リハビリ 船田	心臓リハビリ 泉	心臓リハビリ 藤田	心臓リハビリ 船田	心臓リハビリ 船田
	息切れ外来 渡邊 (13時30分~)	スキンケア外来 第1・3(午前)	ペインクリニック 山内(康) 午前 SAS外来 植田(午後)	フットケア外来 (毎週)	糖尿病外来 古川(第2・4) じん肺外来 西村(第1・3午前)
	小児神経外来 矢野 (午後)	アスベスト外来 (13時~16時)	神経難病 橋本 小児神経外来 濱田	アスベスト外来 (13時~16時)	息切れ外来 渡邊 小児神経外来 矢野

※外来受付は8時30分から12時までです。内科(呼吸器・消化器・循環器)は午後も13時から16時までです。

ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。

※SAS(睡眠時無呼吸症候群)

2015年1月1日現在

## 独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251  
 ホームページアドレス <http://www.ehime-nh.go.jp>

### 当院の位置と交通



#### 高速道路川内ICまでの所要時間

- 三島川之江IC(70km) 50分
- 高松西IC(130.9km) 1時間30分
- 徳島IC(170.9km) 1時間50分
- 高知IC(130.1km) 1時間30分  
(川内ICから当センターまで車で5分)

#### 交通機関

- 電車 伊予鉄高浜横河原線横河原駅下車徒歩7分  
または、愛大医学部南口駅下車徒歩3分
- バス 伊予鉄松山市駅川内方面行横河原下車徒歩10分
- 自家用車 松山市から30分 伊予市から40分 西条市から60分  
無料駐車場完備

※弊誌の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解を頂いております。

※弊誌へのご意見ご要望ご感想は、当センター内病院新聞編集委員会(担当:小倉)までお寄せください。